

平成31年2月26日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

■京都商工会議所の移転について

この京商ビルで開催する記者会見は、今回が最後となる。京都経済センターへの移転が待ち遠しいと同時に、55年にわたって京都経済の拠点として多くの方に愛された本ビルに対して、名残惜しい思いを感じている。長きにわたってお世話になった近隣の事業者や住民にも感謝を申し上げたい。

移転まで残り数日だが、3月5日から新たな気持ちで京都経済の活性化に向けて取り組めるよう、気持ちの面でもしっかりと準備を進めたい。

■京都企業の景況について

米中貿易摩擦による中国の景気減速が鮮明になってきており、京都企業にも徐々に影響を受けたところが出てきているようだ。特にスマートフォン向け部品が急激に悪化しており、今年3月期決算を下方修正する動きが目立つなど、今後の動向を懸念している。

中国経済は、これまで大きな成長を続けてきており、日本を抜いて世界第2位の経済大国となったが、その急成長の反動がここにきて現れてきたのではないかと考えている。スマートフォンについても、世界の出荷台数の約3割を占める中国マーケットの縮小や、世界的な買い替えサイクルの長期化などで、生産調整の局面に入ったと見ている。さらに米中の貿易摩擦の激化が重なったことで、中国経済の減速につながっている。米国でも議会での対立によって政府機関の閉鎖が長引いたことや、中西部で記録的な寒波に見舞われるなどの影響で、米国経済にも不透明感が広がっている。

とはいえ、米中協議の結果次第では、貿易摩擦の解決に一定の道筋が見える可能性も残されている。特に中国では、国内景気が急速に悪化していることを受けて、摩擦の解消を急ぐ動きも出ており、うまく進めば4月以降に景気の上向きが十分期待できるのではないかと考えている。混迷を深めるブレグジットの行方など、世界経済や景気動向に注意は向けつつ、足元のビジネスを着実に進めて行くことが重要だ。

京都商工会議所の動き

■2019年度事業計画の方針について

2019年度の事業計画の骨子となる基本フレーム案を取りまとめた。

2019年度は、「京商ビジョンNEXT」に基づいて事業活動を展開する3ヵ年の最終年度となる。いよいよ来月に迫った「京都経済センター」のグランドオープンと本所移転を踏まえて、経済センターの機能を最大限に活用しながら、知恵産業の飛躍的な集積をはかり、「知恵産業の森」をさらに拡大させていきたいと考えている。

そうした観点から、重点的に取り組むべき3つの課題を掲げている。

1つ目は、京都経済センターの機能を活かした、「連携」「交流」による知恵ビジネスのさらなる創出である。

京都経済センターには、本所をはじめ、府内の経済団体や産業支援機関が結集し、京都の未来に向けてオール京都が連携する拠点となる。「京都ビジョン 2040」で掲げた地域の未来像である「世界交流首都」と、その柱の一つである「価値創造都市・京都」の実現を目指して、京都経済センターを新たな基盤にオール京都で知恵ビジネスの芽を生み、育てる事業を強力に展開してまいりたい。

具体的な事業や支援については、A1、A3を中心に記載している。

A1の知恵ビジネス支援では、知恵ビジネスプランコンテストや知恵産業経営大会の実施に加えて、京都経済センターの機能である「オープンイノベーションカフェ」と連携し、知恵ビジネス企業等との交流を図る「知恵産業の森サロン（仮称）」を開催することとしている。また、「知恵ビジネスプラン 3000 社創出支援プロジェクト」の最終年度として、その目標達成に取り組む。

A3の販路開拓支援では、今年に続いて、来年3月に開催される「京都国際ナショナル・ギフト・ショー」との併催で、オール京都の販路開拓事業「京都知恵産業フェア 2020（仮称）」を開催し、全国のバイヤーに知恵ビジネス商品の魅力を発信する。また、京都経済センターに移るJETRO京都を中心とする「京都海外ビジネスセンター」と連携し、知恵ビジネス企業をはじめ、京都企業の海外展開への支援を強化していく。

重点課題の2つ目は、遅くとも2021年度中といわれる文化庁の本格移転や、2025年大阪・関西万博の開催を見据えた取り組みの推進である。これからの未来に向けて、新たな価値を創造し続けていくためには、「クロス」の発想が求められる。本所としても、「文化×産業の創造」や「文化×まちづくり」など、分野を越えた知恵の掛け合わせによる「クロス バリュー クリエーション」を推進し、新たな時代の産業やまちづくりを加速させていく。

たとえば、B1の文化×産業の創造では、「文化×知恵産業展（仮称）」を9月にみやこめっせで開催することとしている。9月3日～5日に開催される『KYOTO KOUGEI WEEK』の一環として開催し、知恵を活かした伝統産業事業者との商談や、伝統産業74品目の実演などを通じて、「文化×知恵産業」の魅力を広く発信していきたい。

B2の文化・観光都市の推進では、新たな観光ニーズや観光ビジネスへの対応を強化するために、「観光振興クロスセミナー（仮称）」を実施し、文化や伝統産業、IT等を活かした事例の紹介や分野を超えた交流を通じて、新たな観光や観光ビジネスの振興を促進していく。

重点項目の3つ目は、社会課題を解決するベンチャーの育成や、新たな起業家の発掘・育成など、未来を担う産業人材の育成支援である。

たとえば、A1知恵ビジネス支援では、「創業塾」などの創業支援講座を引き続き実施するとともに、今年度からスタートした起業後3～5年目の起業家を対象とする「京商フューチャーセッション」の事業を強化する。さらに、スタートアップ企業への支援として、新たに「知恵産業オープンイノベーションピッチ（仮称）」を開催する。ベンチャーキャピタル等の投資家や支援機関、本所会員等が参加し、スタートアップ企業によるビジネスアイデアの発表をもとに、成長につながる対話や交流が生まれる舞台としていきたいと考えている。

以上、重点分野を中心に説明させていただいた。京都経済センターへの移転を契機に、「知恵産業のまち・京都の推進」を基本方針とする本所の活動は、新たなステージを迎えることになる。本所事業をさらにパワーアップして推進していくため、一般社団法人京都知恵産業創造の森をはじめ、関係団体との連携を強化し、取り組んでまいりたい。

このフレームに基づく事業計画案は、本日の常議員会で報告し、役員・議員に意見照会を行ったうえで、3月26日の議員総会で決定する。

■京都経済センター こけら落とし事業について（野瀬副会頭より説明）

「The KIMONO Styled & Restyledーファッションとしてのきもの1300年ー」は、京都織物卸商業組合の創立50周年事業・京都経済センターこけら落とし事業として、京都商工会議所と京都織物卸商業組合が共同で主催するきもの衣装の展覧会である。3月16日（土）～3月29日（金）まで、京都経済センター2階の京都産業会館ホールで開催する。

京都の四大祭の一つといわれ、戦前から戦後にかけて行われた「染織祭」に使用された染織衣装を展示する。染織祭は昭和6～26年まで開かれていた祭で、昭和12年までは女性時代衣装行列を含む様々な時代衣装によるパレードが京都市内で行われていた。今回展示する衣裳は、奈良時代から江戸後期の衣装を昭和初期に正確に復元されたもので、現在は京都染織文化協会が大切に所蔵している貴重な衣装だ。これらの復元衣装を中心に、約100点に及ぶ衣装を時代ごとに展示しており、京都服飾文化研究財団の名誉キュレーターである深井晃子氏に展示監修いただいた。他にも、新進気鋭のファッションデザイナー・中里唯馬氏による新作衣装の披露や、きもの文化にまつわる対談、講演会等も実施する予定だ。

本展覧会がファッションとしてのきもの魅力を存分にアピールし、これまでにない新鮮な驚きと発見に満ちた展覧会としてご覧いただけるよう、また、今後の和装業界の新たな躍進のための大きなきっかけとなるよう努めてまいりたい。

■記者からの質問事項

■事業計画基本フレームにある「知恵産業オープンイノベーションピッチ（仮称）」について、もう少し詳しく教えてほしい。

開催時期については秋ごろを想定しており、規模や内容などは今後検討を進めている。場所は京都経済センター3階の「オープンイノベーションカフェ」で行う予定だ。

■間もなく閉館を迎える3代目京商ビルにまつわる思い出があれば、お聞かせいただきたい。

まず思い浮かぶのは、副会頭として21世紀を迎えるにあたり、当時の稲盛会頭から21世紀に向けた本所のビジョンづくりを任せられ、何度も議論を重ねた場としての思い出だ。その時に策定したビジョンが、今現在も推進している「京商ビジョン」の基盤となっている。

また、会頭に就任してすぐにリーマンショックを経験し、それを切り抜けてきたこと、また多くの財界人と交流を深め、京都経済の活性化に向けて務めてきたことなど、すべてが京商ビルの思い出となっている。

■京都経済センターへの移転を間近に控え、改めて京商として力を入れて行きたい取り組みや経済センターへの思いを伺いたい。

会頭に就任してからこれまで「知恵産業のまち・京都の推進」を基本方針に掲げて10年以上にわたって取り組んできたが、新たな知恵ビジネスの芽を育てる取り組みをこれまでよりも強力に進めるため、入居する他の団体と連携を深めていきたい。京都経済センターには、本所だけでなく多くの産業支援機関や京都府・京都市などの関係団体が入居することになるが、他団体とコラボレーションを深め、各々が知恵を持ち寄ることで、新たな価値の創造と知恵ビジネスの創出のためにより大きな力を発揮できると考えている。

また、経済センターの運営法人となる「一般社団法人京都知恵産業創造の森」の初代理事長に就任させていただいたが、公益を第一に考えた運営を心がけていきたい。

■間もなく天皇陛下のご退位・ご即位があるが、双京構想の進捗とこれからの動きについて決まっていることがあれば伺いたい。

双京構想については、京都ビジョン2040にも掲げている施策ではあるが、現時点では白紙の状態だ。間もなく改元が行われるというタイミングで、京都として動きを見せることはおこがましいという気持ちがある。ご退位された後にしっかりと時間を置いたうえで、京都御所での茶会の開催などについて検討していきたいと考えている。これは私だけではなく、オール京都で共通の認識だ。

以 上

定例会頭記者会見



日時：平成 31 年 2 月 26 日(火)14：00～14：30

会場：京都商工会議所 3階 第3会議室

1. 2019年度事業計画の方針について . . . 資料①

2. 京都経済センター こけら落とし事業について . . . 資料②

以 上



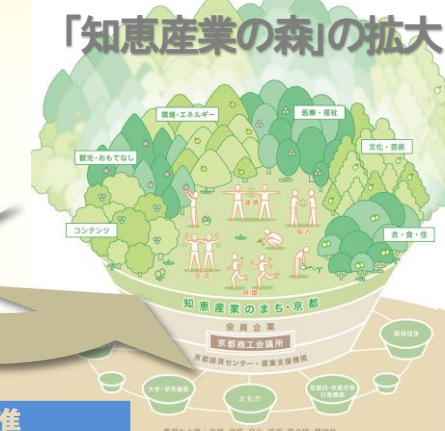
2019年度 京都商工会議所事業計画基本フレーム案

記者配布資料 ①

～ 京都経済センターの機能を最大限に活用し 知恵産業の飛躍的な集積へ～

京商ビジョンNEXT
3年目の重点課題

- ① 「連携」「交流」による知恵ビジネスのさらなる創出
- ② 文化庁移転や万博開催を見据えた「文化×産業の創造」「文化×まちづくり」などクロスバリュークリエイション※の推進
※ 多様な知恵の掛け合わせ(クロス)による新たな価値の創造
- ③ 未来を担う産業人材の育成支援



A. 知恵が集積し活力溢れる京都産業

A1. 知恵ビジネス支援

- ・第11回「知恵ビジネスプランコンテスト」の実施
- ・知恵ビジネスの裾野を広げる「知恵産業の森サロン(仮称)」の開催
- ・「知恵産業・経営大会2019」の開催
- ・知恵を引き出す「強み発掘プロジェクト」等による『知恵ビジネスプラン3000社創出支援プロジェクト』の実現
- ・「創業塾」などの創業支援講座、起業家支援事業「京商フューチャーセッション※」の実施 ※ 参加者の意見交換を通じ、未来志向のアイデアを生み出す場
- ・ベンチャー起業家支援「知恵産業オープンイノベーションピッチ※(仮称)」の開催 **【新規】** ※ 起業家が投資家等に対してビジネスアイデアを発表すること
- ・京阪神の連携によるライフサイエンス関連産業振興の推進

A2. 中小企業しっかり応援

- ・「経営発達支援計画」に基づく伴走型支援事業の推進
- ・「中小企業応援センター」を通じた各支援機関との連携 **【新規】**
- ・金融機関や税理士等専門家との連携による事業引継ぎ支援の強化
- ・親族承継・事業承継税制対応のための専門相談窓口の設置 **【新規】**
- ・京都経済センター入居機関との連携による事業承継の譲受案件発掘と譲渡案件とのマッチング強化 **【新規】**
- ・小規模事業者・中小企業の生産性向上を目指したIT/IoT活用の推進
- ・消費税率引上げに対応した経営基盤強化、軽減税率制度導入の対応支援
- ・産業エネルギーマネジメントシステム(EMS)の普及促進
- ・「京商ECOサロン」の開催など第4期京商・環境行動計画の推進
- ・「がんばる経営応援専門家ネットワーク」など専門家との連携強化
- ・「支援力向上評価会議」等による経営支援力の向上・強化
- ・地域活性化推進委員との連携やビジネス交流会の開催による地域活性化の推進

A3. 販路開拓支援

- ・オール京都による販路開拓「京都知恵産業フェア2020(仮称)」の開催
- ・テーマ別商談会(事前マッチング型等)や「京都知恵ビジネスセレクション」など販路開拓支援の拡充
- ・JETRO京都を中核とした「京都海外ビジネスセンター」との連携による海外展開支援の強化
- ・アジアへのビジネスミッションの派遣
- ・アジア市場開拓チャレンジ事業の実施
- ・府市と連携したマテリアルビジネス販路開拓支援事業の実施
- ・国内販路開拓支援事業「あたらしきもの京都」の推進
- ・「京都ブランド海外展開助成金(仮称)」の創設 **【新規】**

A4. 人材確保・育成支援

- ・京商ビジネススクールの充実(公開セミナー特別プログラムの拡充)
- ・簿記検定、新設のプログラミング検定をはじめとする検定試験の受験者拡大
- ・新卒採用のための大学生に向けた中小企業情報発信支援事業「京の中小企業ワークナビ」の充実
- ・「中小企業業界研究会」や「企業採用担当者と大学就職担当者の情報交換会」などによる中小企業と大学との関係強化
- ・働き方改革の推進、女性・障がい者・高齢者・留学生等の活躍支援

B. 多様な人々が交流し創造性豊かなまち

B1. 文化×産業の創造

- ・「文化×知恵産業展(仮称)」の開催 **【新規】**
- ・「KYOTO CMEX2019」の開催などコンテンツ産業の振興
- ・伝統工芸産業のイノベーションに向けた「伝統工芸産業NEXTサロン」の実施
- ・「文化庁への支援検討ワーキングチーム(仮称)」の設置 **【新規】**
- ・「きもの文化」ユネスコ無形文化遺産登録に向けた関係機関との連携
- ・「きものウィーク」や「きもの日」の普及促進
- ・和装関連団体と連携・連動した「第27回ファッションカンタータ from KYOTO」の開催
- ・「京商 食の6次化推進支援ボード」など農商工連携の推進

B2. 文化・観光都市の推進

- ・びわ湖疏水船をはじめとした産業遺産や文化財の活用による新たな観光資源の開発推進
- ・文化、伝統産業、IT等を活かす「観光振興クロスセミナー(仮称)」の実施 **【新規】**
- ・「京津奈・古(いにしえ)の三都めぐり」の実施
- ・「花灯路」「京の七夕」「祇園白川桜ライトアップ」など夜観光充実事業の支援・実施

B3. 京都のブランド価値向上の推進

- ・「京都創造者大賞2019」の実施
- ・第16回京都・観光文化検定試験の準1級認定の新設や広報強化による受験者拡大 **【新規】**
- ・2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた「京都文化カプロジェクト」への参画
- ・「京都スマートシティエキスポ2019」の開催支援

B4. 交流と賑わいの都市づくり促進

- ・京都駅西部・東部・東南部エリアにおける新たな賑わい創出の促進
- ・北陸新幹線の早期大阪延伸の促進
- ・リニア中央新幹線の東京・大阪間全線早期開業および京都ルート誘致の推進
- ・京都市と隣接する自治体を結ぶ幹線道路の整備促進
- ・「京都府立京都スタジアム」の建設促進
- ・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向けた機運醸成
- ・2025年大阪・関西万博開催に向けた協力 **【新規】**

C. 会員とともに挑戦し続ける京商

C1. 会員交流・サービスの充実・強化

- ・全会員の参画機会向上を目指す「会員交流強化プロジェクト」の推進
- ・「定例会員講演会」やオンラインセミナーなどの開催
- ・会頭・部会長、全職員による会員訪問の実施
- ・部会・委員会活動の強化・充実
- ・女性会・青年部の活動支援
- ・「京商はんなり共済」の継続条件の緩和など共済制度の普及促進

C2. 情報発信機能の強化

- ・会報誌「京ビジネスレビュー」の増刊による会員向け情報発信の強化 **【新規】**
- ・WebサイトリニューアルやSNSの強化などによる本所事業の発信充実
- ・首都圏、海外への会員企業の情報発信支援の強化
- ・新事務所内における若手美術・工芸作家の作品展示やマッチングへの支援 **【新規】**
- ・第11回京商政策フォーラムの開催や国・京都府・市への要望活動など意見・提言活動の強化

C3. 組織基盤の強化

- ・12,500会員を目標とした全役職員による会員増強運動の実施
- ・府商工会議所連合会の機能強化による府内商工会議所との連携強化
- ・(一社)京都知恵産業創造の森との連携強化 **【新規】**
- ・府内経済団体、関西・北陸等の関係諸機関との連携強化
- ・議員選挙・選任の実施
- ・本所不動産処分積立金活用検討会議(仮称)の設置 **【新規】**
- ・大規模災害等に備えた事業継続計画(BCP)対策の推進
- ・SDGsを踏まえた次期ビジョンの策定 **【新規】**

京都織物卸商業組合創立 50 周年記念事業／京都経済センター柿落とし事業

The KIMONO Styled and Restyled

—ファッションとしてのきもの 1300 年—
開催要項



- 会期 平成 31 年 3 月 16 日（土）～3 月 29 日（金）
- 会場 京都経済センター 2 階 京都産業会館ホール
- 主催 京都織物卸商業組合、京都商工会議所
- 共催 京都府、京都市、（公社）京都染織文化協会、（公社）京都工業会、
京都信用保証協会、（一社）京都産業会館
- 後援 経済産業省、NHK 京都放送局、（一社）京都経済同友会
- 内容 公益社団法人京都染織文化協会所蔵の昭和初期に復元された奈良時代から江戸時代までの染織衣装を中心に、明治から昭和時代の衣装も含めた、約 1300 年に亘る日本の染織衣装の変遷をスタイリングの観点から概観すると共に、未来のきものスタイリングについて考える機会を提供する。
- 出品作品 奈良時代「唐の国から」8 点
平安時代「七殿五舎」8 点
鎌倉時代「女房の物詣」7 点
室町時代「諸職の婦女」12 点
桃山時代「洛中洛外」13 点

江戸時代前期「小町踊り」23点

江戸時代後期「着だおれ京女」11点

明治・大正・昭和時代・現代「婚礼衣装」他11点

監修 深井晃子氏（(公財) 京都服飾文化研究財団 理事・名誉キュレーター）

協力 (公財) 京都服飾文化研究財団、株式会社千總、株式会社松栄堂

入場料 大人 800 円、学生（高校生以上）500 円

宣伝広報 ①ポスター・チラシの制作

②媒体広報

③交通広告

④その他

頒布物 展覧会冊子（A5 サイズ オールカラー 40P）の制作・販売（800 円）

関連イベント 【対談】きもの談義：日本のきもの、西欧の KIMONO

長崎巖氏×深井晃子氏

日時：3月19日（火）17時～18時

【対談】未来の衣服ときもの

中里唯馬氏×細尾真孝氏

日時：3月22日（金）17時～18時

【衣紋と講演】装束司が話す宮廷装束の世界

黒田知子氏

日時：3月26日（火）17時～18時

定員各回 50 名・参加料無料（展覧会観覧券をお持ちの方対象）

※会場は全て京都経済センター内会議室

ファッション
としてのきもの
一三〇〇年

The KIMONO

Styled & Restyled

2019.

3.16
SAT
FRI
29

OPEN | 10:00 ~ 18:00 (会期中無休)

料 金 | 一般 ¥800 学生 ¥500 中学生以下無料 ※きもの着用の一般の方 ¥500

京都経済センター2階 京都産業会館ホール

主催：京都織物卸商業組合 京都商工会議所

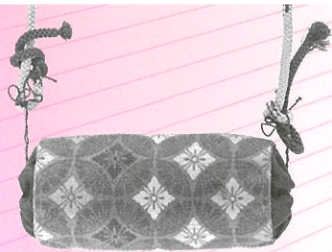
共催：京都府 京都市 (公社)京都染織文化協会 (公社)京都工業会 京都信用保証協会 (一社)京都産業会館

後援：経済産業省 NHK 京都放送局 (一社)京都経済同友会



京都織物卸商業組合50周年記念特別展覧会・京都経済センターこけら落とし事業

ファッションとしてのきもの1100年



“ファッション”という 画期的な視点から きもの歴史を総覧

日本独自の文化である「きもの」には、現代の装いにも通じる様々なアイデアやヒントが溢れています。本展は、芸術的な表現にとどまらない、「ファッション」としてのきもの魅力に焦点を当てた展覧会です。古代から近世まで、それぞれの時代に輝いた女性たちのきものが復元され、豊かな着る文化の歴史を物語ります。伝統的な色や柄、重ね着、帯や小物などをコーディネートし、スタイリングした展示は、これまでにない新鮮な驚きと発見に満ちています。そこから現在・未来の着こなしのヒントが見えてくるでしょう。

2019.
3.16
SAT FRI
→ 29

The KIMONO

Styled & Restyled

OPEN | 10:00~18:00 (会期中無休)



京都染織文化協会の所蔵する奈良時代～江戸後期の衣装は、昭和初期に当時最高の有職故実、染織の研究者と職人が結集して正確に復元された貴重な衣装です。これを服飾史家・深井晃子氏の監修のもと、時代ごとに、付随する小物とともにスタイリング展示します。当時の生き生きとしたきもの装い方は、これまでにないきもの魅力を引き出します。明治～昭和期は、千總所蔵の婚礼衣装と着用写真、他を展示。さらに、これからのきものとして新進気鋭のファッション・デザイナー中里唯馬氏がこの展覧会のために制作した新作を披露します。また映像や音に加えて、香りを楽しんでいただける展覧会です。

This exhibition explores the rich history of women's kimono that spans 1300 years by focusing on the respective styles of each era. Half a century ago, over 100 historical kimonos were replicated by textile experts of Kyoto under the supervision of academic researchers and historians. The exhibition vividly demonstrates how kimonos were dressed in vogue during each era along with their coordinated accessories. Furthermore, you will have hints to the kimono of the future.



撮影OK
Cameras allowed

本展覧会是一部を除き撮影可能です。
SNSの投稿などお楽しみください。



開催記念関連イベント

京都織物卸商業組合50周年の展覧会開催を記念し、本展覧会キュレーターの深井晃子氏をはじめ、各界を代表するゲストの方々による対談、宮廷装束の着付け等のイベントを開催します。

定員：先着50名・参加無料
(本展覧会の観覧券が必要です)
詳細・お申込みはホームページをご覧ください。

For more details,
please check
the website.



<https://www.thekimono.jp/>

【対談】きもの談義：日本のきもの、西欧のKIMONO

日本のきものは、世界中で愛されています。東と西との眼から、きもの魅力とは？について語り合います。

日本服飾研究家 **長崎峻氏** × 深井晃子氏
本展覧会キュレーター・西洋服飾研究家

【日時】2019年3月19日(火) 17:00~18:00

【対談】未来の衣服ときもの

きものは、長い歴史の延長線上に大きな可能性を秘めています。ポータルに活躍する気鋭の二人が描くこれからのきものとは？

ファッション・デザイナー **中里唯馬氏** × **細尾真孝氏** (株) 細尾 常務取締役

【日時】2019年3月22日(金) 17:00~18:00

【衣紋と講演】装束司が話す宮廷装束の世界

日本の美意識を創り出した平安という時代の衣装の魅力、着付けの実演とともに語ります。

黒田知子氏 装束司

【日時】2019年3月26日(火) 17:00~18:00

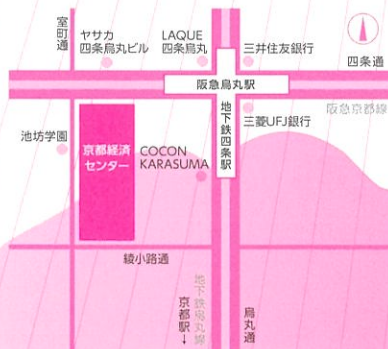


(上) 花扇丸流水文様打掛(桃山時代 復元)
刺繍と絞りで花扇を、褶落で流水を表現した豪華な打掛。お引きずりに着る打掛は、時に帯で結び動き易くした。
(下) 槍扇波頭文様小袖(江戸初期 復元)
寛文期特有の躍動感溢れる横圓の小袖。中幅の帯で緩やかに締めた。 いずれも写真：畠山崇



展覧会キュレーター 深井晃子(ふかいあきこ)氏

服飾史家。西欧の服飾史から現代ファッションまでを論じることのできる服飾研究の第一人者。数々のファッション展を国内外でキュレーションし、高く評価される。京都服飾文化研究財団理事、名誉キュレーター。著書に『きものとジャポニスム』平凡社 他多数、2008年文化庁長官表彰他。



問い合わせ TEL.075-353-1010

表面写真：雲取露草文様小袖(右) 肩裾紅葉水玉文様小袖(左) / (室町時代 復元) 中世特有の肩と裾に柄を置いたデザインの小袖。動きやすいように裾を引き上げ、細い帯を簡単に結んでいる。写真：畠山崇